

森と緑の会だより 2008春号

「NO!!  レジ袋」が緑  をふやす、ふれあいの森づくり。

高知市神田「おおなろふれあいの森づくり」に、地元にお店のあるサニーマートさんも協力して森を整備しました。

みなさんは知っていますか？ 何気なしに使っているたった 1枚のレジ袋でも 製品化されてゴミとして焼却されるまでにたくさんの二酸化炭素 が排出されます。 標準的な約 9g のレジ袋 1枚の製品化から焼却までに約 100g の CO₂が必要というデータもあります。

森と緑の会では、賛同量販店に協力いただき、レジ袋を削減した経費の一部を「緑の募金」にいただき、森づくりや町の近くの森林公園の整備を行っています。レジ袋を断ることは、だれでも取り組める身近なエコ活動です。

平成 20 年 2 月 24 日(日)に、この募金の事業として、「おおなろ野外活動の森づくり」の取り組みを行いました。

「おおなろたいようひろば」は、たくさんの桜が植わる桜の名所ですが、公園にある松が「松枯れ病」で松枯れが進んでいます。松枯れの拡大は、「地球温暖化」の影響で加速しています。

午前中は、子ども達ははじめに桜の植樹をしました。その後は、伐採しておいた枯れ松の搬出や下草刈り作業を行いました。午後は、松枯れの犯人「マツノザイセンチュウ」の話を、樹木医の野島幸一郎先生から聞き、実際に顕微鏡で見ました。そして、小枝の「もっくん」と紙 UFO をつくって、早速飛ばしながら、園内で楽しく遊びました。



桜の記念植樹。ほかの桜より二酸化炭素固定能力の高い常緑の「ヒマラヤ桜」5本とヤマザクラ5本を植えました。



開会式。地元にあるサニーマート神田店の店長さんからも挨拶をいただいた後、桜の植え方の説明を聞きました。



伐採した枯れ松を森から運び出しのびたササを刈って、すっきりと明るくなった林内。



「おるおる、動きよう！」松を枯らす正体なんて子どもも大人も初めて見るので興味津々。



小枝を使った「もっくん」づくり。木の枝を目の玉にした！好きな色を塗ってオリジナル作品の完成です。

緑のキャラバン隊がやってくる！

パネル展示

知ってほしいから、森のこと・緑の募金のこと。普及パネル展示です。

木のおもちゃ体験コーナー

県内保育園・幼稚園に3ヶ月貸し出

しています。今回は木の玉プールスライダー・ハウスを展示します。

ヒマラヤ桜プレゼント

各店先着 30 名様に、二酸化炭素固定能力の高い常緑で冬咲きのヒマラヤ桜をプレゼント。

3月 1日(土) サニーアクシス南国店
3月 9日(日) サニーマート四万十店
3月 15日(土) バリユーノア店
3月 20日(木・祝) エーマックス一宮店
3月 22日(土) ナンコクスーパーPASTE 店
時間は全て 10～15時



お気軽な募金新システムが登場！

ハーティポイントで森づくり！

サニーマート各店に設置されているポイント交換機にて1口100ポイントでご寄付いただけるシステムが登場しました！



数ある商品がありますが「緑の募金」100ポイント募金のボタンをチョイス！

画面の案内にしたがって指でタッチするだけ！



100ポイント(1口)に1枚受領確認が発行されます。



初めてでもとても簡単に操作できます。笑顔の川合理事長。

ポイント交換機「おすすめ」欄「緑の募金」を選ぶ

発行された確認券はお持ち帰りください

ご寄付頂いたポイントはブルーチップハーティカードセンターが取りまとめ

社団法人高知県森と緑の会「緑の募金」

県内の森や緑の活動へ！

緑の募金をつかった活動はこの広報誌やホームページでご覧になれます。



園児真剣！シイタケコマ打ち体験！

2月16日(土)、高知学園短期大学附属高知幼稚園で、年中・年少さん40名がコマ打ちに挑戦しました。

木のおもちゃを貸し出したことが縁で、先生から園でシイタケを育てたいという希望があり、実施しました。初



めの体験とあって、皆が真剣にトンカチを打つ姿がとてもかわいらしかったです。コマ打ちしたほど木は園で管理し、来春頃から生え出す予定。楽しみにしててね。

地域づくりへ間伐材の活用法講習

2月4日、8～10日の4日間で、香南市香我美町岸本地区で間伐材を使った遊具づくりの講習を行いました。

地域で活動するボランティアリーダーの養成のために、材価の低迷で森に放置されている間伐材を子ども達の遊具に利用して、地域づくりを行う方法を学んでもらおうと実施しました。ブランコ、木わたり、シーソーの3種類を作成。仕上がった遊具は、「花・人・土佐出会い博」の花公園の遊び広場として活用されます。



MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト②

須崎市吾桑子ども会と桑田山に雪割桜75本を植樹

須崎市桑田山は雪割り桜の名所。毎年いち早く咲く桜に花見客がにぎわうスポットです。2月17日(日)、昨年11月のいの町につづき、ワンガリマータイさんの世界10億本グリーンベルト運動への協賛行事として、土佐っ子植樹会を行いました。吾桑子ども会20名、地元の方々、この「緑の募金」を全国店頭で集めているローソンさん、総勢50名で植樹しました。雪割り桜ほかヒマラヤ桜、アジサイ、計185本が植えられました。



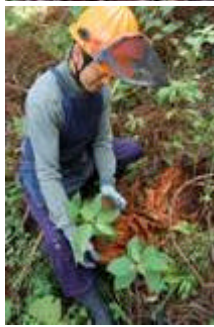
子ども達を地元の方が手伝って共に植えました。

須崎市池山地区の桜の里づくりへ苗木を寄贈

須崎市のお馬トンネルの南側西斜面に位置する池山地区。2年前に幼稚園の子ども達が植樹。地元の人々が協力して手入れを行っています。そして、今回は、須崎小学校の6年生が卒業記念を兼ねて、ソメイヨシノ50本を地元の人と一緒に植えました。



ていねいに植える子ども達。この苗木は「緑の募金」で購入しました。



森の名手・名人【森づくり部門】
そま師 筒井 順一郎さん

土佐郡土佐町に生まれ、土佐町東石原にある自己所有山林の経営をとおして、育林、伐採・搬出、加工までの林業全般に携わり、地域の林業経営の模範となっています。

また、「自然との共生」を基本理念とした山づくりを行い、平成19年3月にSGEC認証を取得するなど、積極的な林業経営を個人で行っています。そして、子ども達への森林環境教育にも努めています。

林業に対する探求心に富んでおり、効率的な生産システムの構築や、独自の育林体系による山林経営を実施しているほか、自家山林により伐採した木材は余すことなく製品化し、再度山に投資する等循環型システムを構築しています。

森の名手・名人に高知県から3名が認定

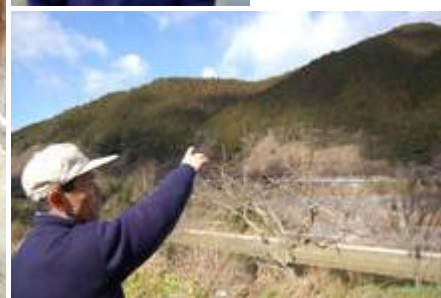


森の名手・名人【加工部門】
炭焼き 仙頭 博臣さん



室戸市吉良川に生まれ、15歳の時から製炭に従事し、以来備長炭(白炭)の製炭を行っています。原料木の伐採・搬出から炭焼きまでの一連の作業を全て自分で行っています。現在、数少ない土佐備長炭の従事者として、長年受け継がれてきた伝統を守り、炭焼きを行うとともに、備長炭の普及・発展に積極的に努めており、土佐備長炭の主産地である地元の品評会でも上位入賞するなど、高度な製炭技術を持っています。

また、所有する炭窯が国道に近いことから見学者の受け入れなど備長炭の文化の伝承とPRにも積極的です。(下の写真は、名手・名人を訪ねて、その活動取材する「森の聞き書き甲子園」の高校生と写したものです。)



森の名手・名人【森の恵み部門】
川漁師(火振り漁) 土居 明さん

高岡郡四万十町(旧幡多郡大正町)に生まれ、日本最後の清流「四万十川」において、全国的にも少なくなった鮎の火振り漁を行っています。高校卒業後、林業に従事し、林業のかたわら季節によって、鮎の投網、火振り漁、ウナギやモズガニ、川

エビ漁など川の恵みを生活の一部としてきました。

林業家として自己所有林(約100ha: 70haがヒノキ林、30haが天然林とクスギ林)で、後世につながる林業経営に努めています。

森づくりの中間支援って？

地球温暖化を背景に、企業や学校などの環境活動として森づくりに関心が高まっています。そういった新しい参加者(企業等)と森を結ぶ中間支援を担う機関＝森づくりコミッションが必要になってきています。

そこで、2月6日(水)から2泊3日で9県から参加者19名が、県森林研修センター「研修館」で、「中国・四国地区森づくりコミッションブロック研修」を行いました。

2日目は、四万十町で総勢50名の参加者のもと、「協働の森」事業について講演を聞いた後、同町の森を視察しました。

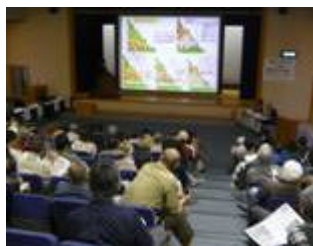


キリンビール「たっすめは！けん」の森

鹿の食害緊急シンポ開催!!

三嶺の森で深刻になっている鹿の食害について1月19日(土)、香北町の会場でシンポジウムが開かれました。三嶺の森をまもるみんなの会主催。現況を、依光代表、香

美市長等計5名が報告し、既に保護管理計画を行っている神奈川県丹沢山系の状況を聞きました。



熱心に話を聞く約150名の参加者に人気の高さからわかった

日常の暮らしの中から森づくり

N C B 緑の募金カード

このカードを使ってお買い物するだけで緑の募金。入会時に、便利なマイバッグをプレゼント。入会金・年会費無料。

ホッと一息。森づくり

～「緑の募金」自動販売機～

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標示がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンコ
- ・四国キャンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリー・アサヒ・ポッカ・大塚製薬・ネスレ)

元気になあれ！仁淀川町のシンボル「ひょうたん桜」 平成19年度「古木の保存事業」の報告を樹木医さんから聞きました。

近年元気がなくなったという声が聞かれるようになった「ひょうたん桜」。その古木の元気を取り戻そうと、(財)日本緑化センターの公募助成金と仁淀川町で治療費を出



ひょうたん桜の前に、話を聞く参加者。

し、足場を組んで本格的に行った治療事業が終了しました。

そこで、1月27日(日)、同町と当会が共催で、治療を行った樹木医さんから説明を聞く会を開催しました。高知県の代表的な桜であり、冬の寒い時期にかかわらず、地元の方、高知県緑サポーター会、一般あわせて総勢73名が参加しました。仁淀川町藤崎富士登町長の挨拶の後、濱田樹木医と入交樹木医から説明をいただきました。木の治療では、完全に元気になるものとは限らないが、みなさんがこうしてこの桜を大切に思い、その様子を気にかけていただくことが元気になる薬ですとの樹木医さんの言葉に、いつまでもこの桜が美しい花をつけますように…とあらためて思いました。

巨樹・古木

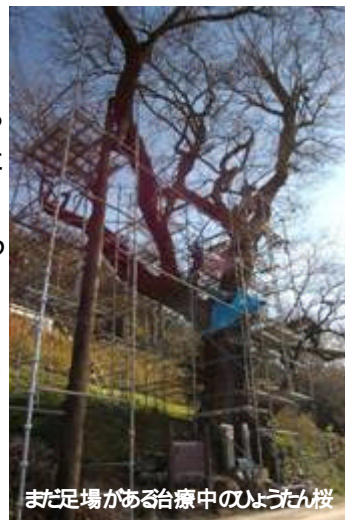
森と緑の会の前身、高知県緑化推進委員会の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行き特集しています。

ひょうたん桜(仁淀川町桜)

学名はウバヒガンであるが、つぼみの形がひょうたんに似ていることからいつしか「ひょうたん桜」と呼ばれるようになった。また、この木がある地区は元々「矢藪」という字名だったが、この桜にちなんで昭和33年に「桜」と改称された。

周囲8m、樹高30m、樹齢500年。県の指定天然記念物。

平成19年度に、治療事業が行われた(上の記事参照)。



まだ足場がある治療中のひょうたん桜

3月1日から
5月31日は
「緑の募金」
強化期間です。
ご協力をお願いします。



- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078

高知県香美市土佐山田町大平 80

高知県森林総合センター内

TEL 0887-52-0072 FAX 0887-52-4177

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ http://www.moritomidori.com/